



2025年9月18日

各位

上場会社名 株式会社ジェリービーンズグループ  
(東証グロース・コード3070)  
本社所在地 東京都台東区上野1丁目16番5号  
代表者 代表取締役社長 宮崎 明  
問合せ先 管理本部長 田上 昌義  
電話番号 (03) 3871-0111 (代表)  
(URL <https://www.jelly-beans-group.co.jp/>)

## 株式会社 Ray of Water との業務提携に関するお知らせ

子会社株式会社 JB サステナブル（東京都台東区、代表取締役：宮崎 明、以下「JB サステナブル」）は、2025年9月18日開催の同社の臨時取締役会にて、独自の技術による環境事業を展開する株式会社 Ray of Water（本社：東京都港区、代表取締役：河野 勇樹、以下「Ray of Water」）と、同社が一部特許を保有し開発する「AirQua」に関して、総販売権を含む包括的業務提携契約を締結することを決議しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 提携の背景

近年、地球温暖化や異常気象の影響により、水不足や飲料水の確保に関する課題が世界的に深刻化しております。特に災害発生時においては、ライフラインの中でも「水の復旧」が最も時間を要し、人命や生活に甚大な影響を及ぼすことが指摘されています。東日本大震災をもとにしたシミュレーションにおいても、電力の復旧が平均約250時間である一方、水の復旧には約100日を要するとされており（出典：経済産業省3月11日の地震により東北電力で発生した広域停電の概要）、災害時の飲料水確保は喫緊の課題となっています。

Ray of Water が開発する「AirQua」は、こうした課題解決に大きく貢献できる次世代の製品です。

「AirQua」は、水分を含む空気を冷却することで水蒸気を水に変える「結露現象」を、電気の力によって強制的に実現する技術を用いた製品です。

- ・水源を必要とせず、空気から飲料水を生成可能
- ・高度なる過技術を組み合わせることで、安全で清浄な水を確保
- ・電力さえあればどこでも使用可能であり、災害時・水不足地域での利用に最適

これにより、災害対策のみならず、世界的な水不足問題、SDGs 達成、環境負荷の低減に資する製品として高い期待が寄せられています。

#### 2. 提携内容

今回の業務提携に基づき、当社は「AirQua」に関する国内外における総販売権を取得し、Ray of Water と協力して事業を推進してまいります。

第一弾として、オフィスや家庭で使用できる水タンク不要型のウォーターサーバーを販売・レンタル形式で展開いたします。この製品は、

- ・災害対策の観点から企業のBCP（事業継続計画）強化に寄与
- ・重たい水タンクの交換作業が不要となり、働きやすい職場環境づくりに貢献
- ・環境負荷の低減による企業イメージアップにもつながる

といったメリットを兼ね備えており、幅広い需要が見込まれます。

当社と Ray of Water は、今回の小型製品にとどまらず、コンテナサイズ的大型設備など、社会インフラレベルでの活用も視野に入れております。すでに能登半島地震の被災地支援に向けた検討を開始しているほか、国際協力機構（JICA）による採択、さらにアジア太平洋アフリカ女性経済交流協会による視察も完了しており、海外市場での展開に向けた基盤も整いつつあります。

将来的には、アジア・アフリカをはじめとする水不足地域や、環境問題への取り組みを重視するグローバル企業への導入を推進し、国内外において本技術を社会実装してまいります。

### 3. 契約締結先企業について

(1)	名 称	株式会社 Ray of Water		
(2)	所 在 地	東京都港区芝浦 4-16-13		
(3)	代表者の役職・氏名	河野 勇樹		
(4)	事 業 内 容	ウォーター事業、ナーシングホーム事業、ドクタープロデュース事業		
(5)	資 本 金	12 百万円		
(6)	設 立 年 月 日	2019 年 1 月		
(7)	大株主及び持株比率	株式会社 7 Aカンパニー 614,000 株 (60.3%) 株式会社 S O-HD 200,000 株 (19.7%) 株式会社ナゼ 108,000 株 (10.6%) 他		
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません	
		人 的 関 係	該当事項はありません	
		取 引 関 係	該当事項はありません	
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません	
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2022 年 9 月期	2023 年 9 月期	2024 年 9 月期
	純 資 産	498 百万円	69 百万円	69 百万円
	総 資 産	1,253 百万円	377 百万円	504 百万円
	売 上 高	1,135 百万円	738 百万円	730 百万円
	営 業 利 益	33 百万円	82 百万円	140 百万円
	経 常 利 益	0 百万円	93 百万円	131 百万円
	当 期 純 利 益	0 百万円	0 百万円	0 百万円

### 4. 今後の見通し

本事業による当社の 2026 年 1 月期の業績に与える影響は精査中ですが、今後、適時開示の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

以上